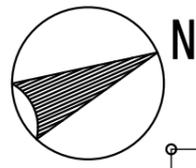


一級建築士 篠原 裕希

現況図 兼 計画図 1/5,000



13,568
400
23,500
1,134

縁石外側

既存建築物

縁石外側

既存建築物

1,200
7,300

防火水槽

計画建築物—2

計画建築物—1

4,100

既存建築物

平均GL±0

10,206
敷地内
通路

平均GL±0

18,000

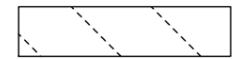
29,500

既存建築物

3

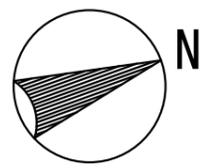
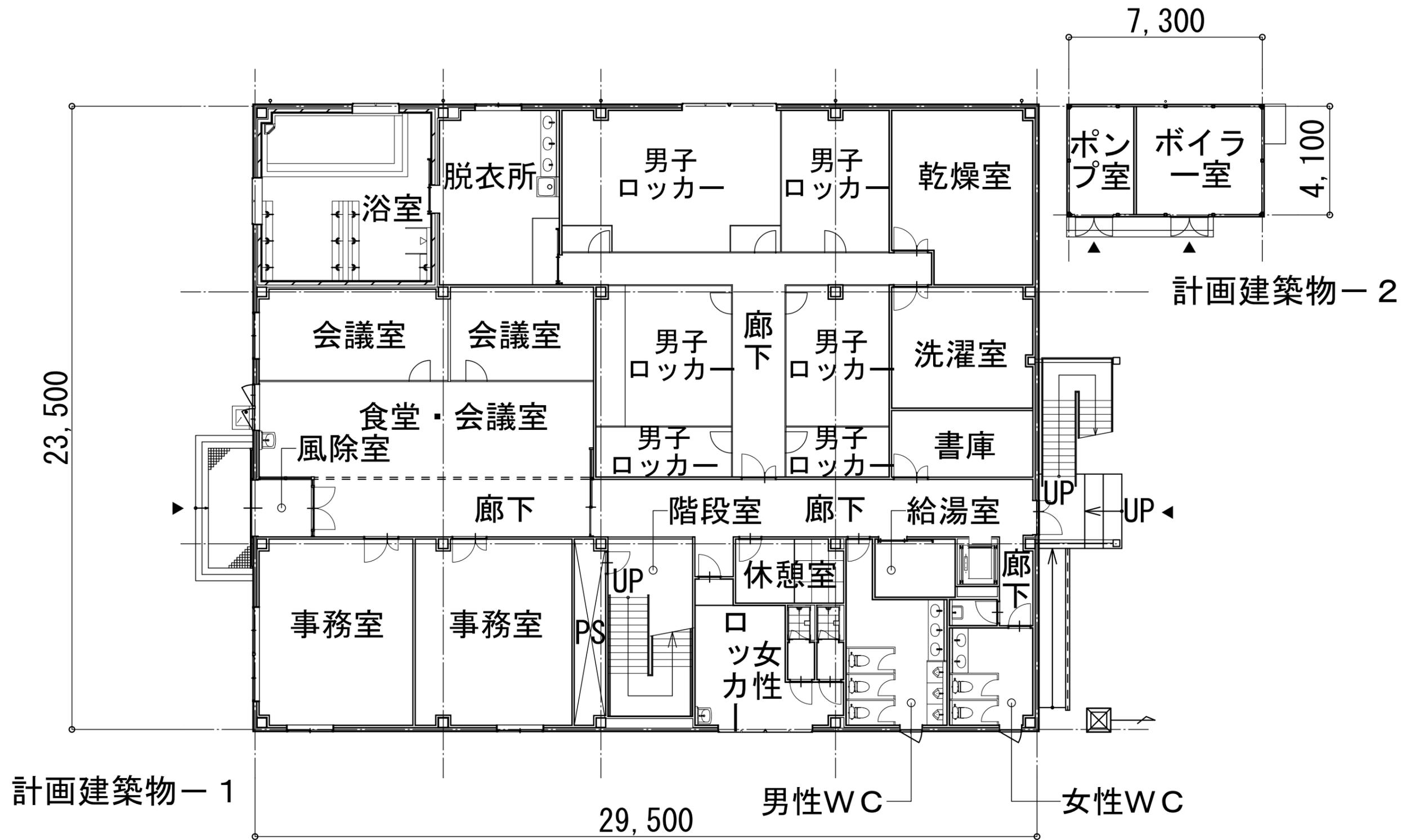
凡例

 : 今回工事建屋

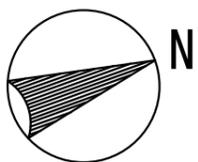
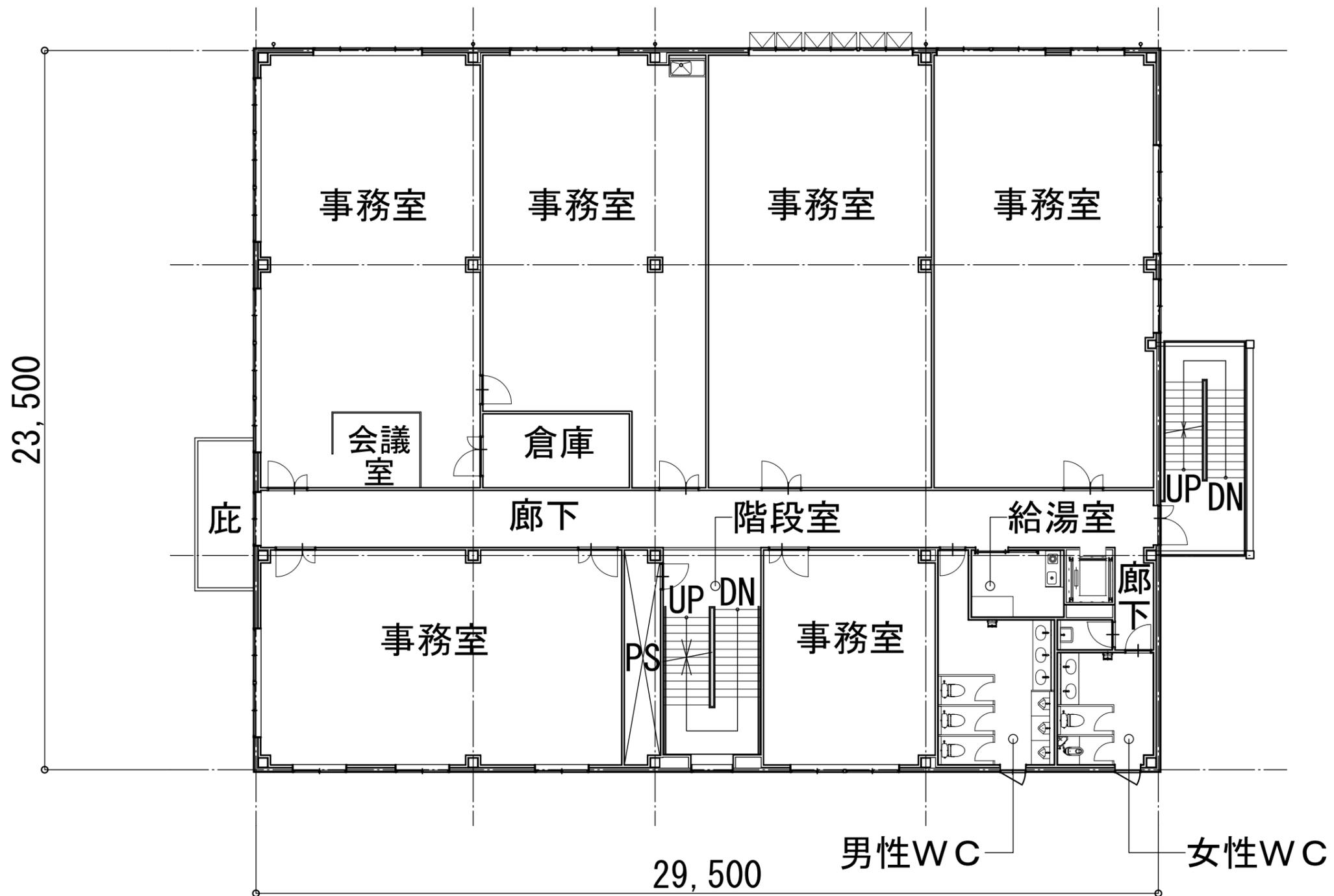
 : 既設建屋

一級建築士 篠原 裕希

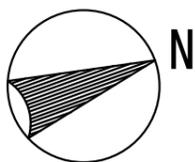
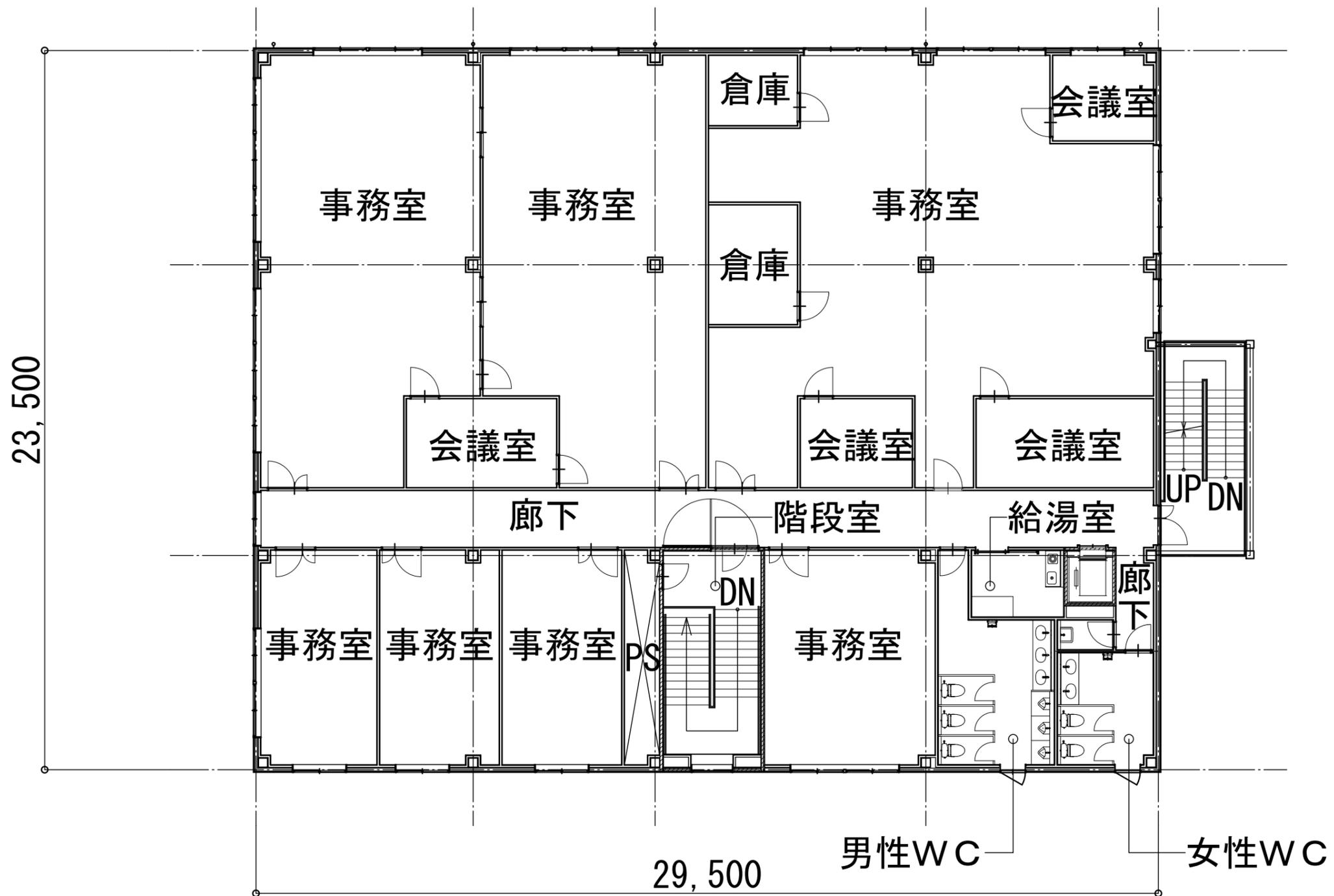
周辺配置図 1/300



計画建築物-1、-2



計画建築物 - 1

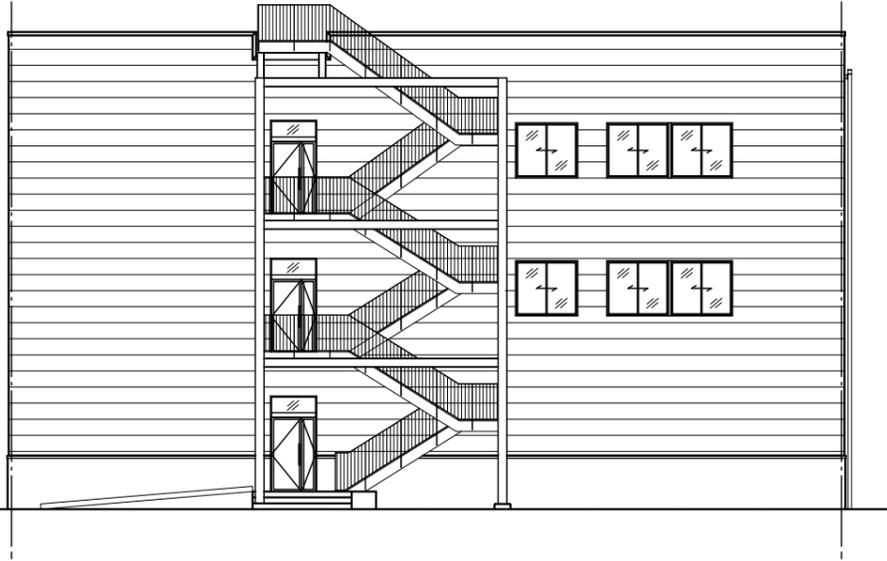


計画建築物 - 1

▽ 最高高さ

13,560

△ 平均GL±0



北側立面図



西側立面図

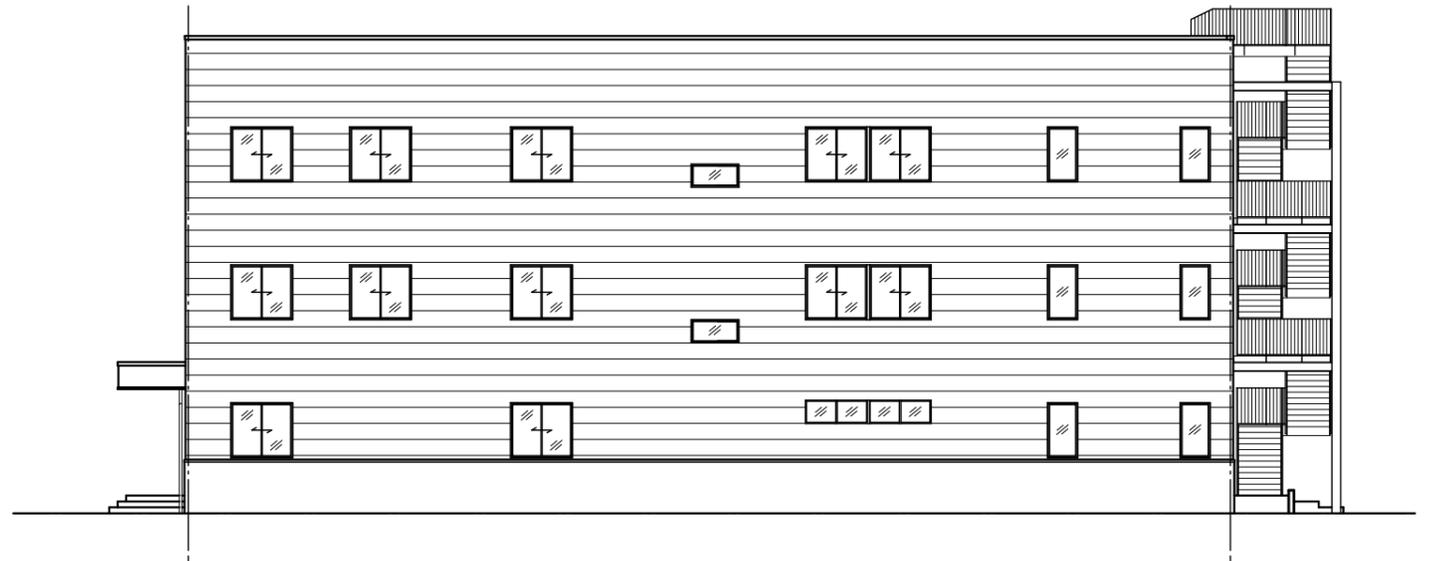
▽ 最高高さ

13,560

△ 平均GL±0

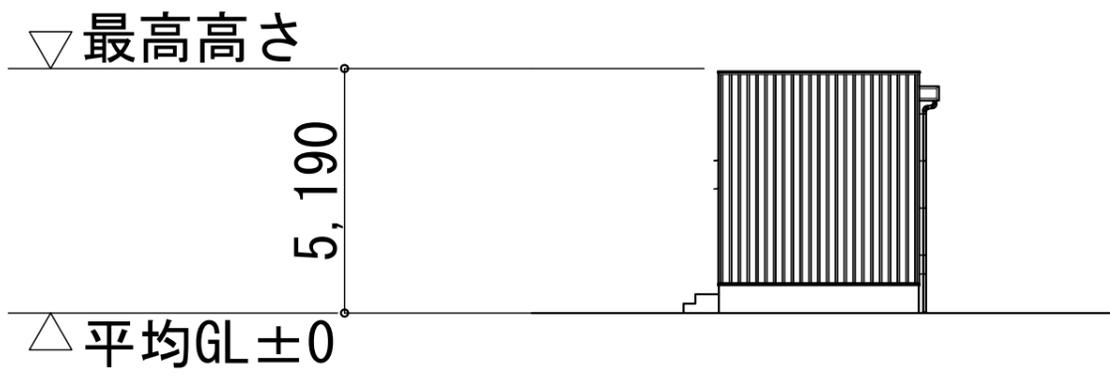


南側立面図

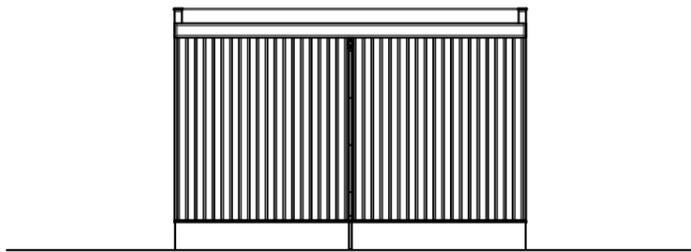


東側立面図

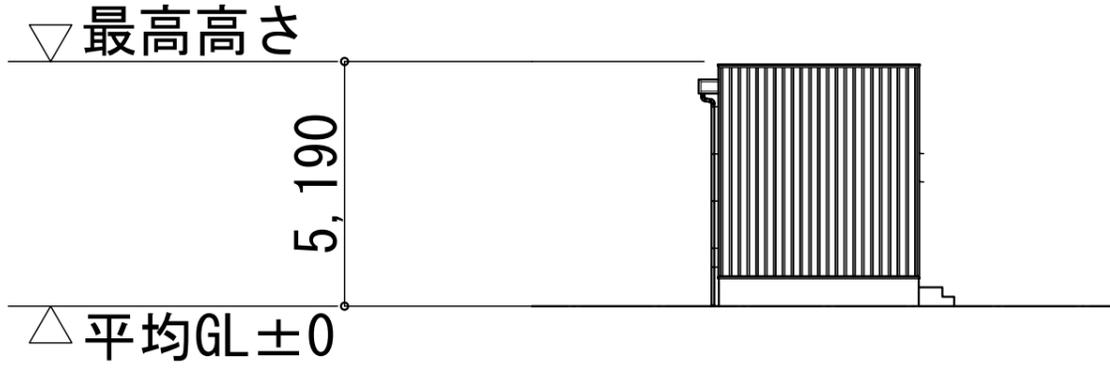
計画建築物 - 1



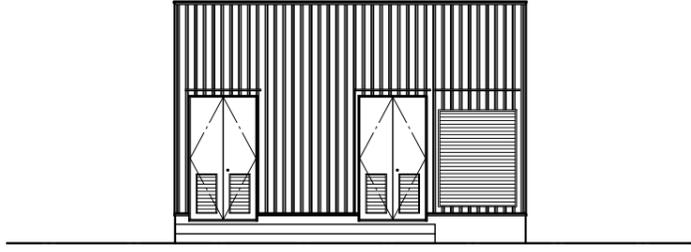
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図

計画建築物－2

建築審査会 包括同意基準適合表（2千都建情第121号）

建築基準法第43条第2項2号 包括同意基準2-1

規則第10条の2の2第2号の規定（その敷地が農道その他これに類する公共の用に供する道（幅員4m以上のものに限る。）に2m以上接すること。）に適合する建築物の場合。

項目		確認欄	備考
(1)	道は法令等により将来にわたり道路と同等の機能が確保されている。	○	千葉市、JFEスチール(株)が所有
	道の管理者との協議が終了している。	○	千葉市、JFEスチール(株)、東京電力(株)が協定を締結し、維持管理している
	道に2m以上接する敷地である。	○	
(2)	特殊建築物又は延べ面積が1000㎡を超える建築物に該当しない。	—	
	特殊建築物又は延べ面積が1000㎡を超える建築物に該当する場合は、道を道路とみなした場合に建築基準法施行条例（昭和36年千葉県条例第39号）の規定に適合する。	○	
(3)	道の幅員を道路の幅員とみなした場合に、法第52条（容積率）の規定に適合する。	○	容積率:34.97%
(4)	道を道路とみなした場合に、法第56条（斜線制限）の規定に適合する。	○	
(5)	建築物の主要出入口から道に至る幅員0.75m以上の避難上有効な敷地内通路が設置されている。	○	
交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がないと認められる理由		確認欄	備考
交通上	通行に支障がない。	○	
安全上	火災等の危険時の避難に支障がない。	○	
防火上	火災時の延焼防止等に支障がない。	○	
衛生上	採光、通風に支障がない。	○	